

Weekly コラム

平成 28 年 2 月 16 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

～あの時、この人～ 「孫正義」

「20代で名乗りを上げ、30代で軍資金を1000億円貯め、40代でひと勝負し、50代で事業を完成させ、60代で事業を後継者に引き継ぐ。」

これは孫正義が19歳で米国留学中に、人生の目標を簡潔に表現した言葉です。孫青年はそれを実現するために、留学中に自分で考案した自動翻訳機を、シャープに売り込んで得た資金が1億円。それが21歳の時です。それを元手に米国でソフトウェア開発会社を設立します。まずは日本からブームが去ったインバーダー機を大量に安値で輸入し、米国でもブームを起し資金を増やして帰国します。

1981年に福岡県で「日本ソフトバンク」を興し、2015年3月期の決算発表では、8.7兆円の売上高、純利益が6684億円の日本を代表する企業に押し上げました。ソフトバンク躍進のきっかけになったのは、やはり2008年のアップル社iPhoneの独占販売開始です。2008年当時はソフトバンクがあのドコモに勝てるはずがないと思われていました。これに反してソフトバンクが 아이폰の独占販売権を得ることができたのは、実は孫正義がアップル社のスティーブジョブズと長期間にわたって良好な関係を構築していたからです。ドコモと交渉が始まる前からすでに勝負はついていたのです。

孫正義は経営の天才であると同時に、交渉の達人と言われております。古くはマイクロソフトの創設者ビル・ゲイツを口説いて、マイクロソフト社のパートナーとしてソフトバンクを大きく発展させてきました。またYahoo!の創設者であるジェリー・ヤンを説得して米国本社に出資すると同時に、Yahoo!japanを立ち上げるなどして、ソフトバンクの成長をその交渉力で牽引してきました。孫氏いわく、良い関係を築けば相手から自然と近づいてくるといいますが、技術と情熱に裏打ちされたものが世界のトップの心を動かすのでしよう。

2015年の孫氏の役員報酬は1億3000万円。意外と少ないかと思いますが、ソフトバンクの株主配当金がなんと93億9600万円です。総資産は1.7兆円で、現在日本で二番目の資産家になっております。そして2011年の東北大震災の直後、100億円を寄付したというのは有名な話です。すでに次期社長候補として、元Googleで事実上のNO. 2であったインド人のニケシュ・アローラ氏を引き抜き、後継者選びもほぼ完了しているようです。ここまでは、まさに孫氏が19歳で掲げた目標通りになっています。今後はもうすでに、世界戦略という新たな目標に向かって舵を切っているのではないのでしょうか。



魚と水

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。